

記入の際の参考にしてください

(別紙1-1)

事業計画書

団体名				
連絡先等	住所	〒		
	氏名		役職	
	電話番号 E-mail			
事業名				
事業予定日	令和 年 月 日( ) 午前・午後 ・ 未定(大体 ごろ) ※数日にわたる事業の場合は詳細を別紙に記入してください(自由様式)			
実施場所	(住所: ) ※複数の場所で開催する場合は詳細を別紙に記入してください(自由様式)			
参加予定者	<事業対象者数> 計 人 [内訳] 青少年 人 (主に ) 大人 人 (例:主に小学生、中高生など)			
	<主催者側運営スタッフ> 計 人 [内訳] 青少年 人 (主に ) 大人 人 (例 主に小学生、中高生など) ※複数回実施する場合は、回数ごとの人数と合計人数を別紙に記入してください(自由様式)			
助成年数	助成年数が1年目の場合はチェックしてください 年目 <input type="checkbox"/> 新しい取り組みの事業 <input type="checkbox"/> 従来の事業をリニューアルしたもの			
参加費	徴収する場合	子ども 円 大人 円		
	参加費設定の考え方			
事業の趣旨・目的 (有効性の アピール含む)	【下記内容を具体的に記入してください。】 ※申請する事業がどのように青少年の健全育成に繋がるのか、事業参加の青少年が体験活動を通じて、どのような事を感じ、身につけることを目的としているのか等を記入してください。			
具体的 事業内容	※事業のメニュー項目ではなく、具体的に事業の中身を記入してください。又、必要に応じ、タイムスケジュール等を記入するなどの工夫をお願いします。  【下記内容を具体的に記入してください。】 ※青少年が事業に対し、どのように関わりを持つのか ※事業の開催場所、その場所を選んだ理由 ※事業の実施計画、進行スケジュール ※参加青少年の募集方法について具体的に記入してください。 (団体の構成員のみの事業は対象外です)			
	広報方法について(例:広報チラシを作成し、各家庭に配布する等)			

助成年数に応じ以下の項目について具体的に記入してください。

1年目

新たな事業や従来の事業をリニューアルして取り組む事業主旨(目的)を、リニューアルの場合は、併せて、変更・改善内容

2・3年目

①前回実施した事業から、今回行う工夫や改善の内容

②自立した運営に向けた人材育成や資金の確保の取り組み

	<p>今年度、助成金を申請するにあたって、自立した運営に向け、次の項目について、課題及び解決方策について具体的に記入してください。</p> <p>①事業内容の充実等 ＜課題＞</p> <p>＜解決方策＞</p>
4年目・5年目	<p>②スタッフ等の人材育成 ＜課題＞</p> <p>＜解決方策＞</p> <p>③事業資金の確保 ＜課題＞</p> <p>＜解決方策＞</p>

記入例

収支予算書

収入、支出の「内訳」欄は、明細〔単価、数量（〇名、〇回、〇人など）〕がわかるように記入してください。

申請事業に要する経費を全て（助成対象経費とそれ以外を区分して）記載してください。

1 収入の部

費 目	金 額(円)	内 訳
参加者負担金	45,000	参加費:大人 1000 円×20 名=20,000、子ども 500 円×50 名=25,000
自己資金	5,400	
助成金	100,000	※千円単位で記入すること。 「ひょうご子ども・若者応援団」助成金
	50,000	※他の団体からの助成金がある場合は、助成金の名称と団体名を記入する。 〇〇助成金・△△財団
その他収入	20,000	企業寄付金 10,000 円×2 口
合 計(※1)	220,400	

支出の部

費 目		予算額(円)		内 訳
			うち助成分	
対 経 費	謝 金	45,000	33,000	※助成額は、対象経費合計の 1/3 以内の額を限度とする。 ※謝金を出す方の所属および人数を内訳に記載してください。 外部講師(〇〇英会話教室) 5,000 円×3 名×3 回=45,000
	旅 費	11,000	11,000	※助成額は、対象経費合計の 1/3 以内の額を限度とする。 外部講師 1,800(往復)×3 名×1 回=5,400 スタッフ 800(往復)×7 名×1 回=5,600
	印刷製本費	12,500	12,500	※助成額は、対象経費合計の 1/5 以内の額を限度とする。 募集チラシ印刷費 5 円×2,500 部=12,500
	需用費	7,000	7,000	調理実習食材費 6,000 消耗品(コピー用紙・のり・セロテープ類) 1,000
	役務費	26,400	23,750	募集チラシ郵送代 82 円×200 通=16,400 行事保険料 125 円×80 名=10,000
	使用料	66,000	13,750	会場使用料 30,000 車両借り上げ料 36,000
	その他経費			
対象経費合計		166,900	→100,000	※各費目の「うち助成分」は、合計が千円単位となるよう配分すること。
対象外経費		53,500		※支出内容と明細(単価、数量等)は、必ず記入すること。 弁当代@500×80 名=40,000 景品代@150×70 名=10,500 講師土産代@3,000×1名=3,000
合 計(※2)		220,400		

(注1)支出欄の費目は募集要領の8(1)「助成対象経費」および8(2)「助成対象外経費」を参考にしてください。

(注2)収入の部「合計(※1)」と、支出の部「合計(※2)」は一致します。

(注3)「収入の部」・「支出の部」の記載方法は、別添の記入例を参照してください。